

こんにちは！第五南自主防災です

第五地区南連合自主防災会だより <第7号>



第五地区南連合自治会

自治会長 小林 昭

昨年の12月1日に山王公園で行なわれた地域防災訓練では大勢の皆様にご協力を頂きありがとうございました。遅ればせながら厚く御礼申し上げます。

当日の訓練は275名の方にご参加頂き次の訓練を行ないました。

- ・ <消火器、発電機、濾水器、車いす>の操作訓練
- ・ <実行しよう！事前防災>をテーマに据えた防災井戸端会議
- ・ <非常食の調理と試食>の炊出し訓練



今回の訓練を振り返りながら、反省点を心に刻み次回に活かしていきたいと思えます。地域の皆様の防災意識がより深いものとなり、それがいざという時、自分や家族を守り近隣同士が支え合う大きな力になればと心から願っています。

さて、先日の1月17日には阪神淡路大震災の発生から30年をむかえました。マスコミがこぞって報道し、当時の映像がたくさん映し出されました。そして、大震災に遭遇し30年経った今もなお、この時のトラウマを引きずりながら生きている人がいかに多いか肌身に感じました。テレビから流れてきた、「生きてさえいればそれでいい」被災者のそんな一言が複雑に絡み合い頭の中を駆け巡ります。

この地震で亡くなられた方の約8割が家屋倒壊や家具の転倒による圧死や窒息死だったと報告されています。「行政がいつかなんとかしてくれるだろう」「でも、そのいつかがいつになるかわからない」これは能登半島地震で被災した方の声です。「プッシュ型支援」と言いつつも、いざ大きな地震に襲われた時、交通網の遮断等々のトラブル発生を考えると行政の支援は必ずしも盤石ではありません。

だからこそ私たち一人ひとりが防災意識を高めていかなければならないと切に思います。

地震は突然襲ってきます。地震から命を守るため、日頃からの備えをお願いします。

- ①非常時の水・食料の備蓄、簡易トイレ、非常持ち出し品を準備しておきましょう。
- ②家具の転倒やガラスの飛散防止等、家の中の安全対策を徹底しましょう。
- ③地震が起きた時の連絡手段や集合場所等を家族で話し合っておきましょう。

TOUKAI 東海
倒壊 - 〇 今なら無料の耐震診断を受けられます。

市町が派遣する専門家による耐震診断を無料で受けられます。 **期限は令和6年度まで！**

〇対象：昭和56年5月以前に建てられた木造住宅 } 問合せ先：沼津市住宅政策課
〇耐震工事には補助金が出ます（令和7年度まで） } 電話番号：055-934-4766